

記事を読んで、問いに答えましょう。

校則の改定案提出

服装、頭髪…選択の自由要望



校則の改定案では、帽子着用や、登下校時防寒や熱中症対策での時間確認のために腕

試行を経て採用見込み

高台中生徒会

浜松市立高台中（中区）の生徒会は1日、校則の改定案を犬塚督校長へある程度の自由を求める内容。今後正式に採用される見込み。

春校長に提出した。服装を中心に生徒へある程度の自由を求める内容。今後正式に採用される見込み。

校則の改定案を犬塚校長に手渡す生徒会の竹下会長

時計の持ち込みを可能とした。白色以外の靴や靴下の着用許可も、要望。頭髪については、刈り上げをはじめ「学校生活にふさわしい髪形」を自ら選択できるよう求めた。竹下健太生徒会長（2年）自身が改定の必要性を感じていたこともあり、昨年末に全校生徒約520人にアンケートを実施。要望を募った上で、生徒会

執行部が改定案にまとめた。試行期間を設けた上で改定案の改善策を再度聴取し、その後正式に校則に盛り込む方針という。改定案を手渡した竹下会長は「より良い学校生活のため、生徒自身が主体的に物事を考える必要性を感じた」と振り返った。犬塚校長は「改定案は真剣に学校運営について考えてくれた結果だ。このまま改定に向けて動いてほしい」とねぎらった。（浜松総局・伊藤龍太）

①校則の改定が必要だと考えた理由を書きましょう。

より良い学校生活のため、生徒自身が主体的に物事を考える必要性を感じたから。

②生徒会執行部によってまとめられた校則の改定案はどのようにして正式な校則にしていきますか。

試行期間を設けた上で改定案の改善策を再度聴取し、その後正式に校則に盛り込む。

③記事中に書かれている校則改定案の例から考えて、「校則の改定を通じて生徒に求められていること」は何だと思えますか。30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

各自の健康状況や個性に応じて、必要性を自ら判断すること。（28字）

学校生活にふさわしい衣服や持ち物などを自ら選択すること。（28字）

校則は自分たちの学校生活をより良くするものと自覚すること。（29字）
など

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校／特別活動、総合）

年 組 名前